

女性ホルモンをアップさせるエッセンシャルオイルを使った 実証実験について

心地よさと機能性のあるアロマ空間デザインや、香りによるブランディング・CIを手掛けるアットアロマ株式会社（代表取締役：片岡 郷）は、この度、長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 篠原一之教授の監修のもと開発した天然エッセンシャルオイルブレンドを使い、天然エッセンシャルオイルが女性のエストロゲン（卵胞ホルモン）値を上げる実証実験を行いました。

■ 実証実験に使用したオイルについて

篠原一之教授の研究により、女性の卵胞期にエストロゲン（卵胞ホルモン）値を上げることが明らかになっている成分「ベータ・カリオフィレン（ β -カリオフィレン）」（注1）を多く含有する、イランイランやクローブ、パルマローザなどのエッセンシャルオイルを中心にブレンドしたオイルを使用。

（注1） 特許 5116942（エストロゲン分泌増進用組成物、及びその芳香組成物、並びにその芳香用具）

■ 篠原一之教授 プロフィール

長崎大学医学部卒業、東海大学大学院医学博士課程修了後、北海道大学、横浜市立大学、バージニア大学等を経て現職。現在は研究の傍ら、子どもと女性のメンタルクリニックにて、週に1日は患者を診察。日本生理学会、日本生物学的精神科学学会、日本味と匂い学会、睡眠学会など、所属学会多数。

【参考：エストロゲン（卵胞ホルモン）がアップすることで期待できる効果】

- ・不安、イライラ、うつ、倦怠感、眠気などの症状の緩和
- ・アンチエイジング（骨を強くする/粘膜の乾燥を防ぐ/認知症予防など）
- ・肌が美しくなる
- ・社交的になる、活力が出る、元気になる（女子力UP）
- ・よく眠れるようになるなど

■ 実証実験

1. 参加者

8名の女性健常者（平均年齢32歳）が実験に参加。実験に先立って、インフォームド・コンセントが全参加者に対して実施された。本実験は、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科倫理委員会の承認を得た上で行われた。

2. 実験方法

実験方法や注意事項等の説明の時間を含む30分間の実験環境への慣らし時間の後、20分間「① β -カリオフィレン含有オイル」と「②コントロール（空気）」の匂いを嗅いでもらい、その前後で唾液中エストロゲンの濃度の変化を比較した*。匂い曝露法は、ガラスバイアルに入れた「① β -カリオフィレン含有オイル」にエアポンプを用いてフィルターした空気を2.0L/minの流量で送り気泡を発生させ、その空気をシリコンチューブ、

漏斗を通して被験者の鼻先 20cm で曝露した。「②コントロール（空気）」では、ガラスバイアルに空気以外何も入れない条件で同様な実験を行った。実験条件間で約 10 分以上の換気が行われ、2 種の嗅覚刺激の順序は参加者間でランダム化された。

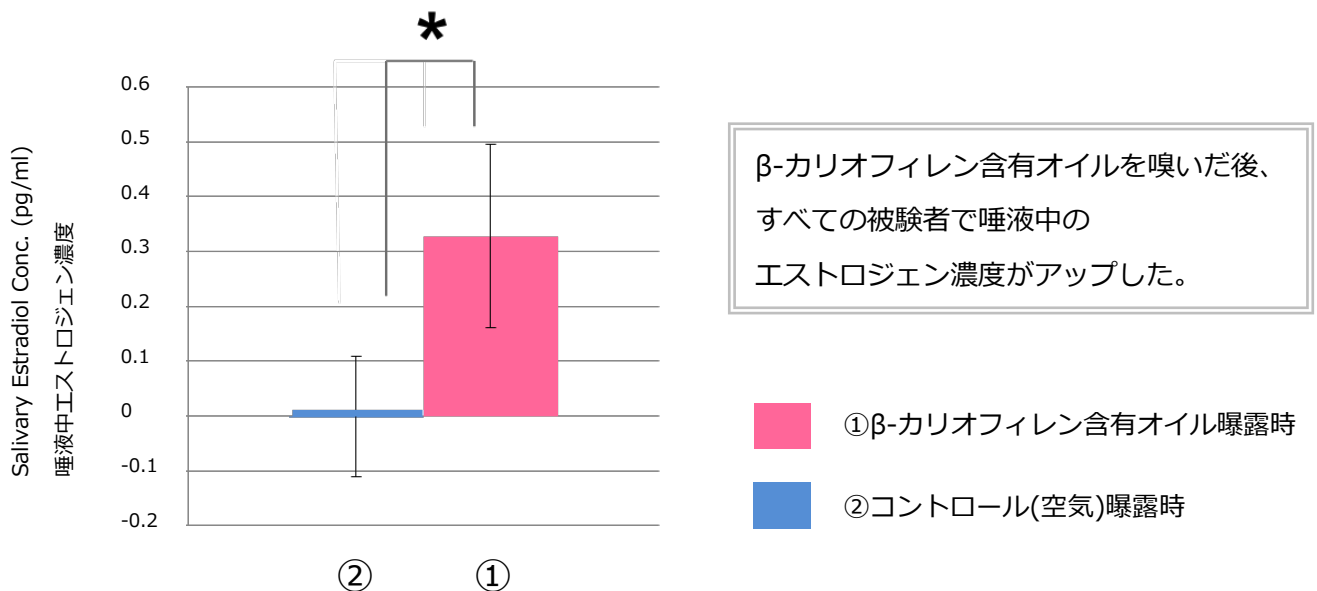
*唾液中エストロゲン濃度は血中エストロゲン濃度と強く相関している (Choe et al., 1983)。

[唾液中コルチゾール濃度解析]

匂い曝露前後の唾液サンプルを各参加者から収集した。唾液サンプルは、-80 度冷凍庫に保存された。唾液中エストロゲン濃度は、ELISA 法によってβ-Estradiol を測定する事により解析した。

3. 実験結果

全ての被験者で、「①β-カリオフィレン含有オイル」を嗅いだ後に唾液中エストロゲンの濃度がアップした。「②コントロール（空気）」では唾液中エストロゲンの濃度のアップはほとんど見られなかった。



本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先

アットアロマ株式会社 広報 武石紗和子

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-23 サンタワーズ B 棟 4 階

TEL:03-6453-4231 FAX:03-6453-4236

E-mail: pr@at-aroma.com